

市議会
ホームページ

市議会に関する情報は、市議会ホームページからご覧になれます。



問 人とのつながりを維持し、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けるためには、外出支援による交流の促進が重要と考える。再編はその一助となると期待するが、見解を伺う。

副市長 東西方向の移動利便性の向上や、市内中心部の公共施設などの利用が促進される効果を期待している。また、高村地区の地域医療福祉拠点と西部福祉会館や保健センターをつなぐルートを新設し、新たな交流の創出にも寄与したいと考えている。

問 再編後の運行概要と今後のスケジュールを伺う。

副市長 平日に1日6便運行し、運賃は路線バスと同様に距離に応じたものとする。ルートについては、田村車庫を始点とする平塚市民病院への既存ルートをおおむね維持し、旭地区から市役所、保健センターをつなぐルートを新設する。現在、運輸局に路線許可などの申請をしており、本年12月上旬の運行開始を目指す。



外出支援による交流の促進を

須藤 量久 議員

シャトルバス(神田地区・市民病院)の再編について

新たな移動手段の導入

問 コミュニティバス導入に対する見解を伺う。

副市長 地域内を循環する移動手段としてのコミュニティバスの導入にあたって

は、地域の特性や需要を踏まえ、地域の機運の醸成と協力を図りながら検討していくものと考えている。

問 多くの自治体で実証実験や、継続的な運行が進んでいるグリーンスローモビリティの導入に向けた検討について見解を伺う。

副市長 グリーンスローモビリティはコミュニティ交通の一つであり、低速で運行することから、交通量が



金目川水系の流域治水について

黒部 栄三 議員

問 近年線状降水帯などにより、豪雨災害が頻発している。県は、令和元年東日本台風の甚大な被害を踏まえ、金目川水系においてハード、ソフトが一体となった実効性のある事前防災対策を加速していくため、金目川水系流域治水プロジェクトを進めている。本市における金目川水系流域治水の取り組みの現状と課題を伺う。

土木部長 県及び流域市町などの行政や企業、市民などが連携して、洪水及び内水氾濫対策や避難体制の強化などの取り組みを進めている。本市ではハード対策として、管路の整備やゲ

は、地域の特性や需要を踏まえ、地域の機運の醸成と協力を図りながら検討していくものと考えている。

少ない、比較的狭いエリアで導入されている。交通における課題を地域と話し合う中で走行環境が適し、地域と共同して持続的な運営ができる場合に、導入を検討するものと捉えている。

▼このほかの質問 小中一貫教育／磐田市視察から「あつたかひらつか」浸透作戦 ポケモンマンホール(ポケふた)の活用 街ガチャin平塚

問 上流の秦野市や伊勢原市とも協力し、上流部に雨水貯留槽や大型遊水地を設置して、本市の雨水が急激に増えないようにすべきと思うが、見解を伺う。

土木部長 流域市町において、厚木市や伊勢原市などは区画整理による調整池の設置を計画しており、伊勢原市は2か所の調整池の設置を現在進めている。

▼このほかの質問 前河原橋について 避難所のトイレ対策 郷土ひらつかを愛する心を育てる 公共施設の蛍光灯のLED化

清風クラブ 所属議員



佐藤 貴子 議長



野崎 審也 議員



坂間 正昭 議員



片倉 章博 議員

決算特別委員会（各分科会）の審査概要

令和6年度決算の認定に関する議案について、9月24日から25日にかけて開催した決算特別委員会の各分科会で審査し、議案4案件は全て認定すべきもの、可決すべきものと決定しました。主な質疑を紹介します。

総務経済

○認第1号 決算の認定について〔令和6年度平塚市一般会計・特別会計決算〕

問 財産管理費の市有財産管理事業について、市有地の売却の目標と実績件数を伺う。

答 売却と貸付け合わせて10件以上の目標を掲げ、実績は売却が10件、貸付けが3件であった。

問 情報化推進費の行政情報化推進事業について、書かない窓口システム導入後の効果を伺う。

答 何度も同じ情報を手書きする負担が軽減された。また、職員が必要なデータを入力して手続きを行うため、市民は迷うことなく手続きができています。

問 競輪事業特別会計について、繰出金が5億5千万円と、この数年で最高だが、取り組みを伺う。

答 令和4年にKEIRINグランプリ、5年は日本選手権、そして6年はオールスター競輪などの特別競輪を開催し、公営事業の本旨である一般会計への繰り出しにつながることができた。

都市建設

○認第1号 決算の認定について〔令和6年度平塚市一般会計・特別会計決算〕

問 安全対策費の放置自転車等対策事業について、放置自転車対策の効果を伺う。

答 毎年10月に定点調査を行っており、10年ほど前は200台あった放置自転車が、令和6年度は8台となり、年々減少している。

問 道路維持費の道路施設維持管理事業について、全国的に街路樹の倒木による事故が相次いでいるが、点検について伺う。

答 東京都の「街路樹診断等マニュアル」を準用し、6年度から街路樹剪定士による点検を実施している。

問 消防費の常備消防事業について、崩落監視システムの機能や導入経緯を伺う。

答 崩落の恐れがある土砂や構造物のわずかな動きを検知して、現場の隊員に危険を知らせる装置である。熱海市の土砂災害などで活用実績があり、導入した。

教育民生

○認第1号 決算の認定について〔令和6年度平塚市一般会計・特別会計決算〕

問 一般管理費の平塚文化芸術ホール管理運営事業について、中心市街地や市内外に広がるようにぎわいを創出したとあるが、内容を伺う。

答 隣接する見附台公園を生かしたイベントやホールエントランスでのギャラリー展示、絵本講座や紙芝居講座などを実施した。

問 聖苑費の聖苑管理運営事業について、施設の更新状況を伺う。

答 施設や駐車場の照明類のLED化を進めたほか、火葬炉のメンテナンスを行い、レンガの積替えを1系統2炉分を行った。

問 教育指導費のGIGAスクール構想推進事業について、令和6年度は構想第1期の総括年度だったが、内容を伺う。

答 タブレット端末の活用が日常的になってきており、多くの授業でさまざまな活用方法が定着し始めたと捉えている。

環境厚生

○認第1号 決算の認定について〔令和6年度平塚市一般会計・特別会計決算〕

問 社会福祉総務費のこころと命のサポート事業について、普及啓発の取り組み状況を伺う。

答 市内5校の中学生約1146人が参加し、生き方・命の大切さを学ぶ講演会を開催した。

問 予防費の母子保健事業について、男性の育児参加の促進などを目的とした産後パパ育休取得応援交付金の交付件数を伺う。

答 311件である。

○認第2号 決算の認定について〔令和6年度平塚市病院事業決算〕

問 手術支援ロボットhinotoriを使用することの効果を伺う。

答 hinotoriを使用した手術を積極的に行っていることを地域が認識し、当院を受診したいと思う患者が増えており、経営上も大きく貢献していると考えている。